

#02
関数
実習・課題内容
2022 年度 / プログラミング及び実習 III

角川裕次

龍谷大学 先端理工学部

課題・実習の提出先: manaba 「レポート」

manaba「レポート」の今回の提出先へ提出のこと

注意

- ファイル名は指定の通りにすること
- ファイル形式は指定の通りにすること
- 守られていない場合は採点しない場合がある
(採点作業の軽減への協力を宜しく)

実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意

C 言語ソースコード (プログラムコード)

- ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの)
- (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど)

実行結果スクリーンショット画像

- ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など)
- スクリーンショット取得ツールを使用のこと.
- (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像)

考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察

- ファイル形式: テキストファイル (.txt)
- 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと.
- 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明
- (不可: Word や PDF など)
- (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない)

実習

p.152, List 6-7 (左下直角二等辺三角形の表示)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j02a.c (C 言語ソースコード)
- j02a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j02a.txt (説明と考察 300 文字以上),

p.175, List 6-18 (自動記憶域期間と静的記憶域期間)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j02b.c (C 言語ソースコード)
- j02b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j02b.txt (説明と考察 300 文字以上),

課題

課題

p.169, 演習 6-10

要素数が n である `int` の配列 `v2` の並びを反転したものを配列 `v1` に格納する関数を作成せよ.

- `main` 関数も作成して動作確認
- データは各自の学生番号の数字部分 6 桁とする

```
kakugawa@kakugawa-ThinkCentre-M700: ~/Dropbox/Priv...  
kakugawa@tcm700:~/pg3$ cc p-06-10.c  
kakugawa@tcm700:~/pg3$ ./a.out  
1 9 0 1 2 3  
3 2 1 0 9 1  
kakugawa@tcm700:~/pg3$
```


課題 (説明のつづき)

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- k02a.c (C 言語ソースコード)
- k02a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- k02a.txt (説明と考察 300 文字以上),

プログラム全体像

(学生番号の数字部分が 190123 の人の場合の例)

```
#include <stdio.h>
void intary_rcpy(int v1[], const int v2[], int n) {
    ここを作成してください
}
int main(void) {
    int a[6], c[6] = { 1, 9, 0, 1, 2, 3 };
    intary_rcpy(a, c, 6);
    printf("%d %d %d %d %d %d\n",
           c[0], c[1], c[2], c[3], c[4], c[5]);
    printf("%d %d %d %d %d %d\n",
           a[0], a[1], a[2], a[3], a[4], a[5]);
    return 0;
}
```

おわり